

流れない河童

～持続可能な町づくりとともに～

野上川 河川改修事業

かわら版

第2号
令和7年3月

はじめに

玖珠土木事務所では、令和2年7月豪雨により65戸の家屋浸水、JR橋梁の流失等の甚大な被害が発生した野上川において、河川改修事業を実施しています。

事業での取り組みや進捗状況をお伝えるため、このかわら版で情報発信をしています。



被災状況

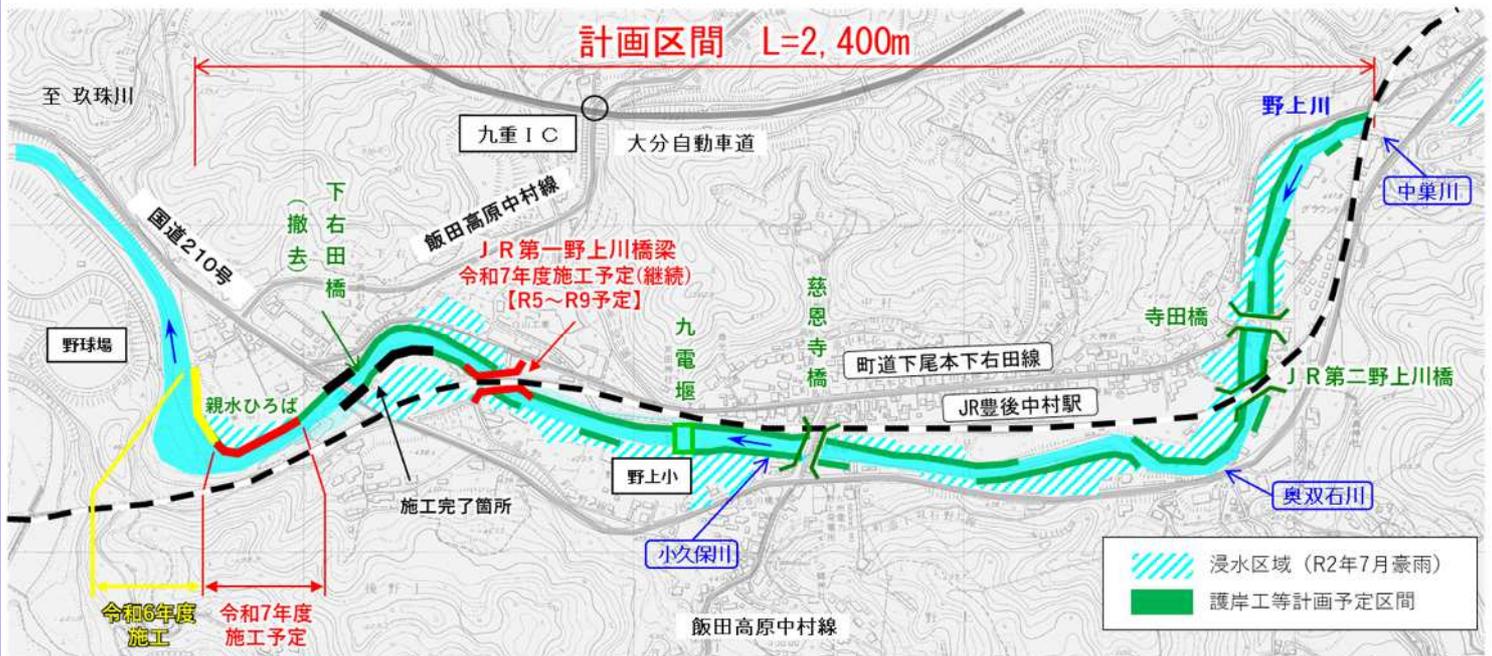
かわら版の発行にあたって

かわら版の名前「流れない河童～持続可能な町づくりとともに～」は、令和5年度に野上小学校の生徒さんが考えてくれたものを採用させていただきました。

『ことわざの「河童の川流れ」の反対の意味で、事業が成功することを願って・・・』との思いが込められています。この河川改修事業が、本来の目的に加え、まちづくりの下支えにもなれば幸いです。

事業の目的

令和2年7月豪雨で被災を受けた家屋等の再度浸水防止を図るため、河川の掘削や拡幅、橋梁や堰などのネックとなる構造物の改築によって流下能力を確保し、再度災害の防止を図ることを目的としています。



事業の進捗状況

令和6年度は、JR第一野上川橋梁の架け替え工事が本格化し、令和7年度の橋台新設に向けた仮設工事(土留工事等)を実施しました。

また親水ひろば付近では、河川を拡幅するための護岸工事にも着手しました。

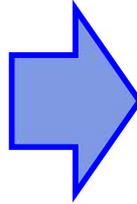


JR第一野上川橋梁
完成予想 (イメージ)

護岸工事(親水ひろば付近)



着工前



施工中 (R7.3)

事業のこれからなど

令和7年度は、JR第一野上川橋梁の橋台新設工事に着手予定。また河川を拡幅するための護岸工事も継続して行います。

また1/30(木)に、野上小学校で土木未来(ときめき)教室を開催し、野上川の事業説明を行いました。

護岸工事施工中の現場では、(株)井原組と(株)伊東組の協力のもと、バックホウやドローンの操縦体験や、大型ドローンを用いたICT施工について説明を行い、土木の魅力伝えました。



バックホウ操縦体験



ドローン操縦体験